

令和3年度(2021年度)金沢大学法科大学院 入学試験問題

【B日程】法律専門科目試験

商法 出題の意図

問題1

退職慰労金の法的性質の検討と、その給付のための手続について記載することを求める問題である。

取締役の退職慰労金は、一般に在職中の職務執行の対価として報酬(会社法387条1項)に含まれると解されている。そのため、支給基準などが明確にされているなどの一定の条件の下で取締役会に具体的な支給金額・時期を委ねることは認められているが(最判昭和39年12月11日民集18巻10号2143頁など)、無条件に全てを取締役に一任することは認めないのが通説である。

問題2

会社設立にあたって、設立費用・開業準備行為の費用を会社へ承継させるための諸手続について検討することを求める問題である。

本件賃貸借契約に伴うAの支出(特に敷金や礼金、更に甲社設立前の賃料)について、設立費用あるいは開業準備行為であるという性質決定を行った上で、このような支出を会社に承継させるための手続について説明を求める。本件でAの支出が設立費用であると解するならば定款記載(28条4号)を、Aの支出を開業準備行為と解するならば前記定款記載に加え、検査役の検査(33条)を経る必要があることの指摘を求める。